

平成24年度 第1回加盟団体連絡会議 兼ドーピング防止研修会

JAPAN Anti-Doping Seminar 2012:
for National Federations

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

2012.6.25, 18:30-20:30
文部科学省委託事業

本日のスケジュール

時間	内容
18:30~18:35	開会挨拶
18:35~18:55	国内外におけるドーピング防止活動の推進について 国内の動向、平成23年度活動報告、世界の動向
18:55~19:30	国内におけるドーピング防止活動の展開について 教育啓発活動について —Real-Winner
19:30~19:50	Doping Control —NF Representative、DCO倫理規定
19:50~20:10	連絡事項 居場所情報提出、TUE申請、注意喚起文掲載
20:10~20:30	質疑応答

アンチ・ドーピング活動 ～NEXT STAGE～

国内の動向

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

アンチ・ドーピング活動の進展 (I)

スポーツ基本法

スポーツ基本法施行 (2011.8)

目的 (第一条)

この法律は、**スポーツに関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的とする。**

アンチ・ドーピング活動の進展 (I)

スポーツ基本法

基本理念 (第二条八)

→ 国、地方公共団体、スポーツ団体等、関係者の役割や責務を果たして行く際に広く共有するべきスポーツに関する基本理念のこと。

「スポーツは、スポーツを行う者に対し、不当に差別的取扱いをせず、また、スポーツに関するあらゆる活動を公正かつ適切に実施することを旨として、**ドーピングの防止の重要性に対する国民の認識を深めるなど、スポーツに対する国民の幅広い理解及び支援が得られるよう推進されなければならない。**」

アンチ・ドーピング活動の進展 (I)

スポーツ基本法

ドーピング防止活動の推進 (二十九条)

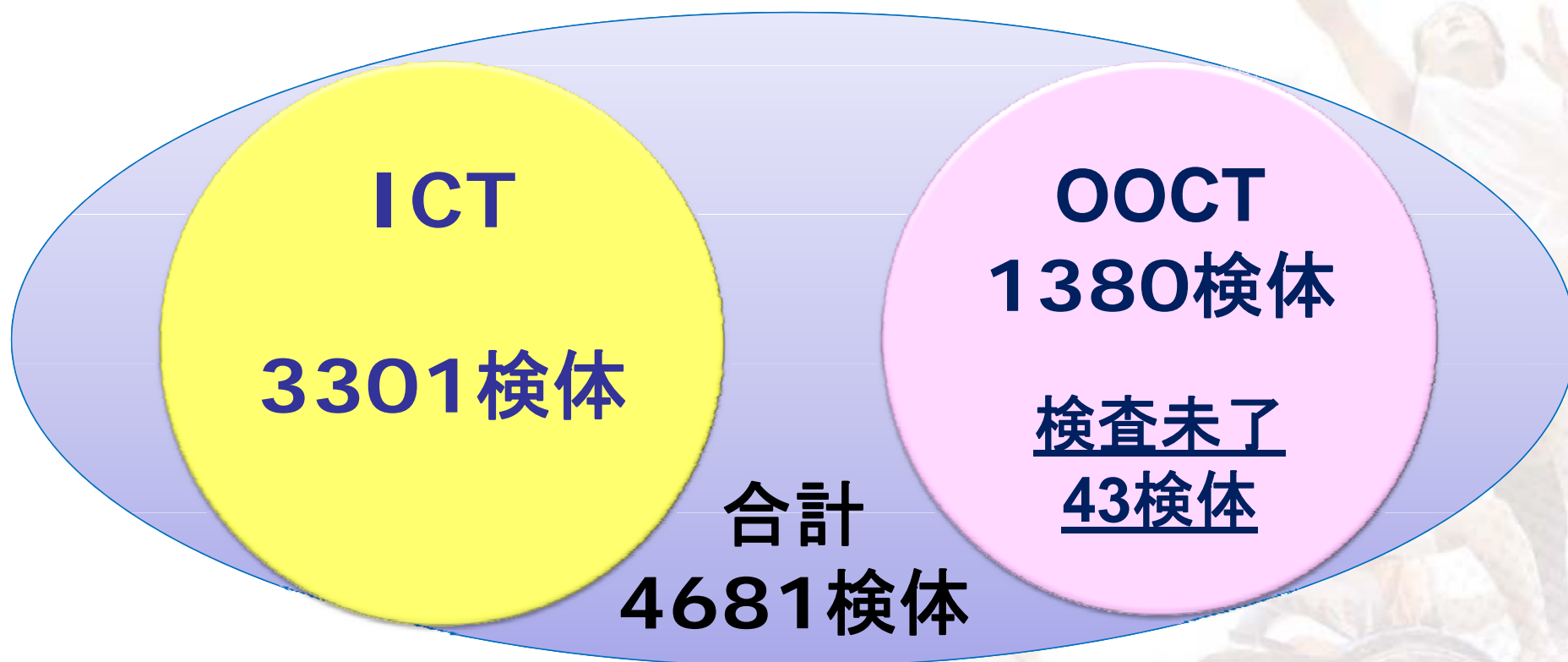
国は、スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約に従ってドーピングの防止活動を実施するため、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構と連携を図りつつ、**ドーピングの検査、ドーピングの防止に関する教育及び啓発その他のドーピングの防止活動の実施に係る体制の整備、国際的なドーピングの防止に関する機関等への支援その他の必要な施策を講ずるものとする。**

アンチ・ドーピング活動 ～NEXT STAGE～

平成23年度 活動報告

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

検査実績報告



競技別検体数については、
JADA webサイトにて公開中。

教育啓発活動報告： 研修会・アウトリーチ

研修会

170回

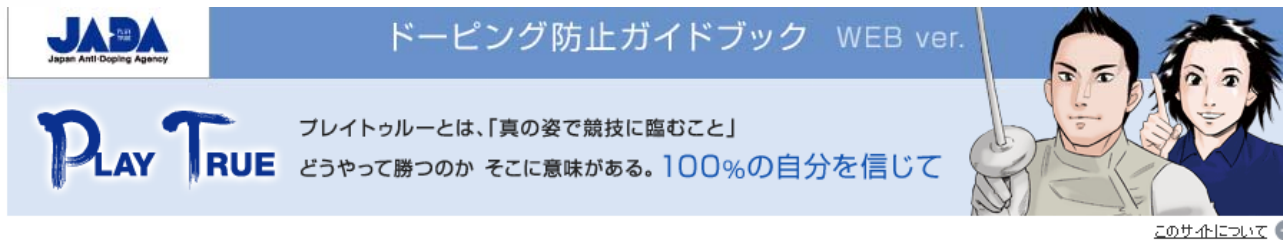
5,810人

アウトリーチ

65回

15,217人数

教育啓発活動報告： ガイドブック



ストーリーで学ぶ 本当の勝利へ ～STORY OF PLAY TRUE～



10問チャレンジ 目指せ全問正解!



資料集：予習・復習はここで

- FAQ →
- ドーピング防止に役立つチェックリスト →
- ドーピング防止規則(抜粋) →

重要

このサイトは、ドーピング防止に関する規則や手続きの概要をわかりやすくまとめたものです。詳細については、日本ドーピング防止規程、世界ドーピング防止規程、及び各競技団体のドーピング防止規程を必ず確認してください。

Web版
Android 携帯
アプリ

国体参加者
研修会
アウトリーチ
等で、配布

教育啓発活動報告： 禁止表アプリ

様には日頃よりご協力とご支援をいただき、
く御礼申し上げます。

10周年記念式典開催
10th Anniversary Press Release

ドーピング防止
ガイドブック WEB ver.

Real Winner
Real Winner ガイドブック 9MB

治療目的使用に係る除外措置
TUE事前申請対象大会

ADAMS
Anti-Doping Administration & Management System

禁止表 Mobile Site
List of Prohibited
Substances and Methods

禁止表
iPhone App

Sports Pharmadist スポーツファーマシスト

詳細

ort of AAA-IAAF Anti-Doping Outreach Activity
ユニオ選手権にてJADAメンバーがアウトリーチ活動展開

ドーピング防止規程 - 改訂版1st Draft開示について

ドーピング防止規律パネルの決定報告

Acid System, Introduction

スポーツファーマシスト制度 | がWADAのホームページで紹介

ニュースアーカイブ (2004-2010)

格停止 海外スポーツ短信

が薬物違反 海外スポーツ短信

突破口 注目の成長ホルモン ロンドン五輪「反ドーピング最前線」

に五輪案項 海外スポーツ短信

物検査検討 FIFA医事会議

定を破棄 ドーピング違反で英国

産「五輪豆百科」

裁判所(CAS)「五輪豆百科」

WORLD ANTI-DOPING AGENCY
play true

他のリンク
News (英語のみ) | コンタクト先 (英語のみ) | 地域事務所 (英語のみ)

2012
禁止表

ホーム シェア 日本語

常に禁止されるもの(競技会(時)および競技会外)

競技会(時)に禁止されるもの

特定競技において禁止されるもの

物質

方法

リンク

2012年禁止表についての情報
禁止表 (英語のみ) [PDF]
Q&A (英語のみ)
監視プログラム (英語のみ)

禁止表

禁止表とは、世界ドーピング防止規程において基盤となるものであり、調和を可能とする重要な構成要素です。

禁止表は世界ドーピング防止機構によって実施される諮問過程を経て毎年更新されます。

2012年禁止表は2012年1月1日から2012年12月31日まで有効です。

- 禁止表とは何でしょうか？
- 禁止表はどのように更新されるのでしょうか？
- 禁止表専門室グループの役割は何でしょうか？
- 禁止表修正の作業工程はどのようになっていますか？



WADA提供・携帯用アプリを 日本語へ翻訳

皆様のご理解とご協力に
心より感謝申し上げます。

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

アンチ・ドーピング活動 ～NEXT STAGE～

世界の動向

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency



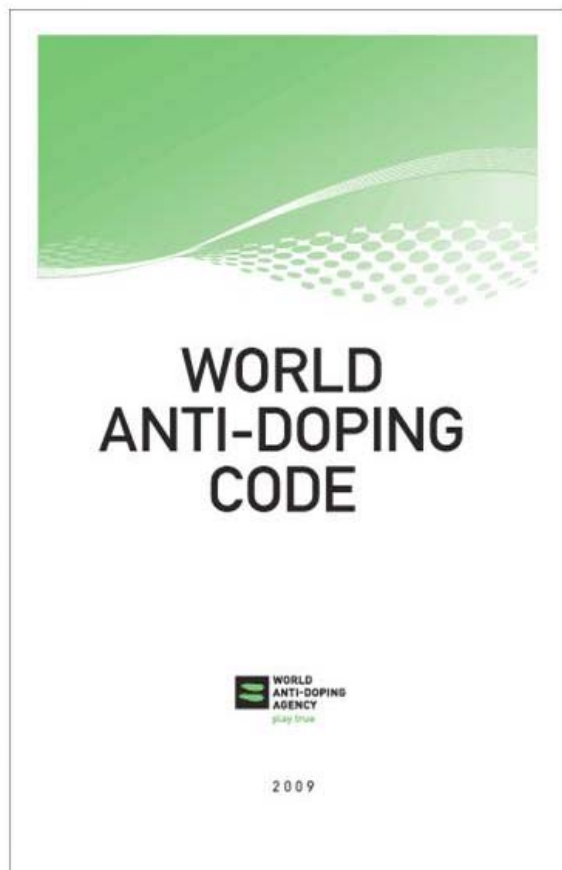
アンチ・ドーピング活動の進展 (II)

London 2012 オリンピック&パラリンピック大会

- London 2012事前トレーニング・キャンプにて、アスリートの検査が開始されている
- インテリジェンス検査—多角的なデータ分析に基づく検査の実施
- アンチ・ドーピング教育啓発活動をアスリート、コーチ、学校等に向けて展開

アンチ・ドーピング活動の進展 (III)

世界ドーピング防止規程 改訂



2015 World Anti-Doping Code Review

- コンサルテーション 3回実施
→ 1st Draft, 6月1日に提示
→ 今後、2回意見収集を実施

- 全国際基準の改定
 - Codeに合わせて
→ 今後、2回意見収集を実施

世界のアンチ・ドーピング活動が、新しい段階へ



アンチ・ドーピング活動の進展 (III)

世界ドーピング防止規程 改訂

日程	意見収集の今後の流れ
2012.8.25	第2回 World Anti-Doping Code & 第1回全国国際基準 (IS) コンサルテーション → NFより意見収集の締切り
2012.9.10	進捗状況報告 - WADA 常任理事会 (ExCo)にて
2012.11.17-18	2 nd Draft World Anti-Doping Code & 1 st IS Draft提出 - WADA 常任理事会&理事会にて
2012.12.1~2013.3.1	第3回 World Anti-Doping Code & 第2回全国国際基準 (IS) コンサルテーション → 1月終わり頃までに、NFより意見収集
2013.5	3 rd Draft World Anti-Doping Code & 2 nd IS Draft 提出 - WADA ExCo&理事会にて
2013.9	Code & IS ファイナル・ドラフト提出 - WADA ExCo
2013.11.12 ~ 15	最終案提出 - World Conference on Doping in Sport - 承認予定 WADA ExCo & FB (ヨハネスブルク・南アフリカ)

アンチ・ドーピング活動 ～NEXT STAGE～

NFとのより強い連携を
目指して

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

NFとのより強い連携を目指して “PlayTrue Team”として

- **Play True Team** とは
事務局、アンチ・ドーピング委員会、強化担当者、指導者/コーチ 等
- **連携活動の推進**
 - ✓ 居場所情報の未提出や不備等に関して、RTPの競技者に対してより強い注意喚起を促す
 - ✓ 教育活動
 - JADA研修会への実施協力及び調整、実施者推薦・育成協力
 - Real Winnerの教育活動への取り入れ、活用
 - コーチや指導者に対してもアンチ・ドーピング教育を推奨
 - ✓ 啓発活動－アウトリーチ活動
 - ✓ 1NF, 1Athlete –アウトリーチや研修会に対するアスリートの派遣協力要請
 - ✓ 検査－NF Repとして国内競技会検査への協力

アンチ・ドーピング活動 ～NEXT STAGE～

教育啓発活動

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

JADA加盟団体へのアンケートより

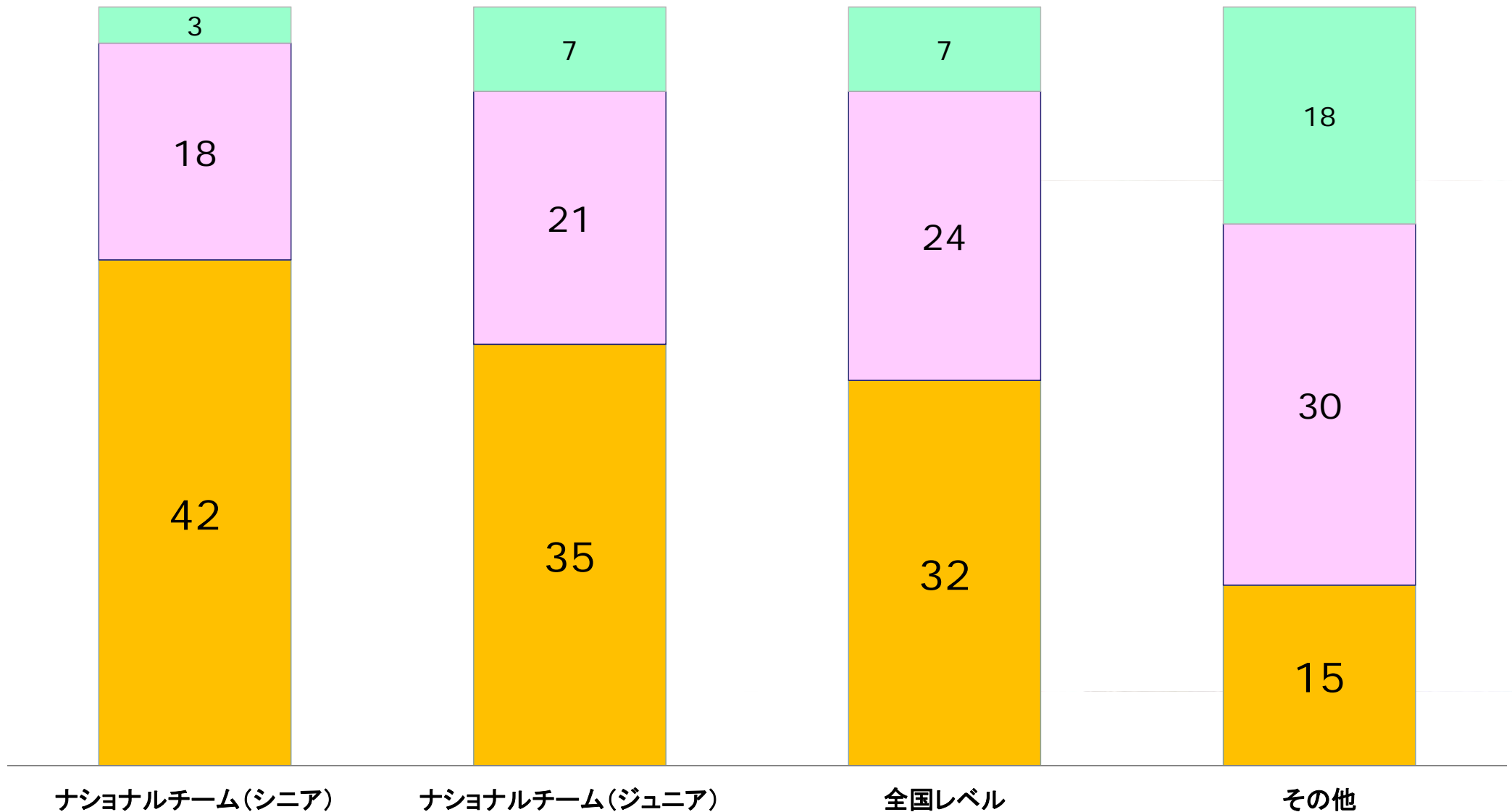
年間計画にアンチ・ドーピング教育プログラムが含まれている

■ はい

■ いいえ

■ 無回答

N=63

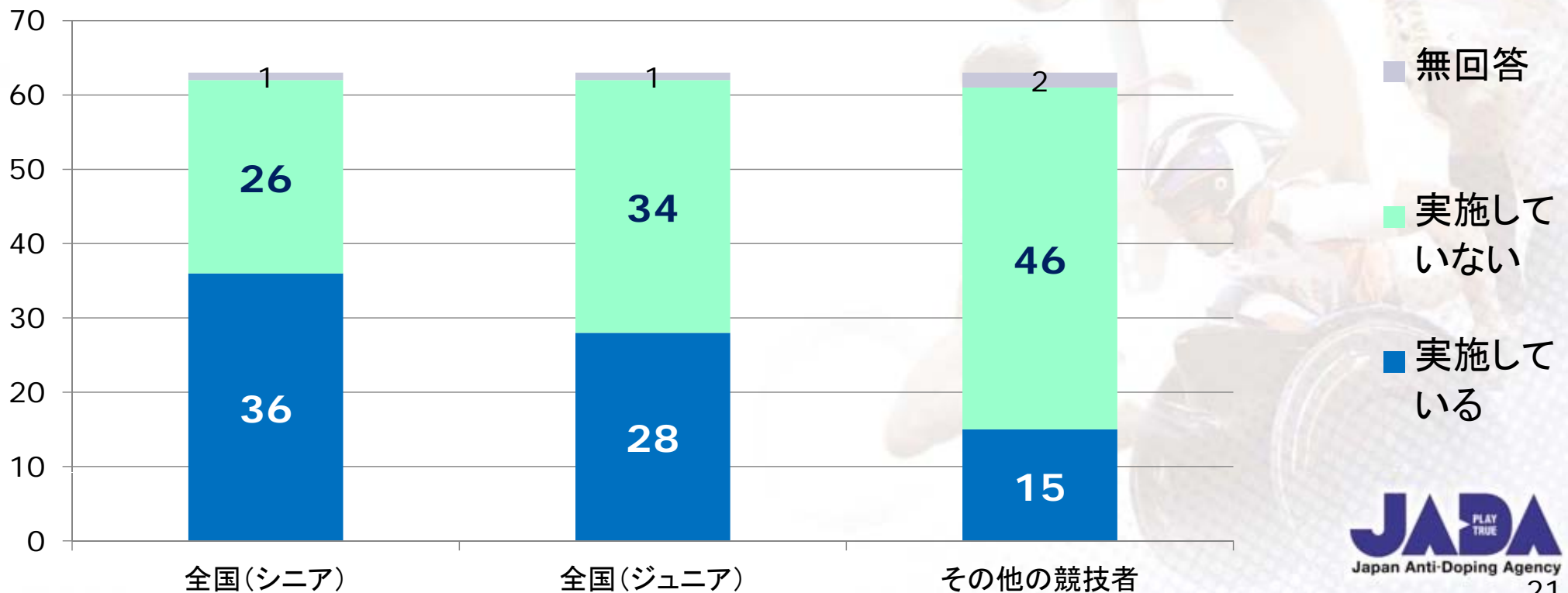


教育啓発活動の拡大

➤ 教育啓発活動の対象拡大の必要性

- 全てのRTP競技者に対して研修会を実施できていない
- ナショナルチームレベル以外の競技者に対しては、十分に実施できていない

ナショナルチーム以外への研修会実施状況



教育啓発活動の拡大

✓ 指導者・コーチへの教育が不十分

→ 競技者が、指導者をアンチ・ドーピング学習の支援者とする割合

ナショナルチームレベル 88.5%

全日本レベル(シニア) 83.2%

全日本レベル(ジュニア) 94.3%

(平成23年度アンチ・ドーピング教育の実施に係る調査研究より)

✓ アスリートのアンチ・ドーピング教育への参加・協力については第一段階

・NFアンケートより、「アスリートの教育活動への派遣協力、参加可能」な団体が多数

→アスリートが参画した形での教育啓発活動の実施

✓ 一般に対しての情報提供が不十分

・文部科学省ガイドライン、スポーツ基本法において、国民一般までに対象を拡大することが明記

NFとのより強い連携を目指して

→ NFとJADAとの連携により、教育啓発活動を
拡充していくことが肝要

- ✓ JADA-NF連携による研修会・アウトリーチの拡充
 - 研修会実施機会拡大
(ナショナルチーム以外、指導者・コーチ等)
 - NFからの実施者派遣・育成協力
 - 教育啓発活動へのアスリートの派遣協力

- ✓ Real Winner の教育プログラムへの取り入れ、活用

NFとのより強い連携を目指して

→ NFとJADAとの連携により、教育啓発活動を
拡充していくことが肝要

- ✓ JADAから教材・ツール等の提供
 - 研修会に使用できる教材・スライドを作成し、提供
 - 運営マニュアルの作成
 - コーチや指導者が活用できる教育ツールの提供
 - その他必要なツールについて、適宜対応

教育・啓発プログラムの紹介 Real-Winner (E-ラーニング)

本プログラムについて

E-ラーニング

アンケート

管理者 OK

Real Winner

Real Winnerは、ドーピング防止について楽しく学習するためのE-ラーニングプログラムです。本プログラムでは、世界ドーピング防止規程(WADA Code)に沿って作成された9つのケースについて学習することができ、全て終了すると、修了証が授与され登録されたメールアドレスに送付されます。

ログイン

プログラムを始める前に、以下のユーザー情報を登録してください。これらの情報はプログラムがユーザーを認識する上で必要となります。

氏名

メールアドレス

選択してください

要約と修了証をメールで受け取る

ユーザー情報を保存する

[Privacy Statement](#)

ログイン



紹介映像を見る

Real-Winner (E-ラーニング)

- 「ドーピング防止ガイドブック: PlayTrue」よりも詳しく学べる、在宅ツール
- IF, 各国NADOでも推奨

* 対象 *

アスリート
コーチ
指導者
学生
教育者 等



The screenshot shows the JADA website header with the logo and name '公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構'. Below the header is a navigation menu with items like 'JADAについて', '規程/国際基準', 'ドーピング検査関連', '書式ダウンロード', '加盟団体', and 'リンク'. The main content area features a large banner celebrating JADA's 10th anniversary, with the text 'JADAは10周年を迎えました。' and a date of September 16, 2023. Below the banner is a list of news items under the heading 'JADAからのお知らせ'. A large orange arrow points from the news list to a highlighted box on the right side of the page. This box contains the 'Real Winner' e-learning tool logo and the text '学ぼう!! アンチ・ドーピング Real Winner'. Below this box are other website elements, including a search bar, a 'Real Winner カイロブック GMB' link, a 'TUE事前申請対象大会' notice, and the 'ADAMS' logo.

Real-Winner (E-ラーニング) 9のテーマ



* アンチ・ドーピング
に関する9のテーマ
→ 自宅で学べる

* 終了時に修了証発行

Real-Winner (E-ラーニング) 活用方法

- 国内での活用参考例
 - ボート
 - パワーリフティング
→ 大会参加者への修了証提出義務化
- IF導入例
 - バレーボール(FIVB)
IF主催大会出場競技者への修了証提出義務化
 - 陸上(IAAF)
アウトリーチプログラムでのプログラムCD配付
 - スケート (ISU)
2012-13シーズンよりIF主催大会出場者に対し
修了証提出義務化

皆様のご理解とご協力を
よろしくお願いいたします。

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

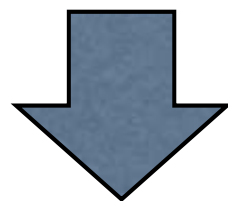
アンチ・ドーピング活動 ～NEXT STAGE～

ドーピング・コントロール

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

ドーピングコントロール における課題

利益相反/利害関係をIFや
外部組織から指摘されるケースが
複数回発生している



検査に関する国際基準では、
利益相反は禁止されている

課題：利益相反事例1

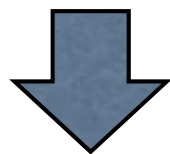
国際大会にて組織委員会医事責任者がDCOを兼務していたことから、IF医事・アンチ・ドーピング責任者に指摘を受け、当日DCOメンバーから外れていた。

課題：利益相反事例2

陽性事例が発生した検査現場でDCOとして対応していた方が、聴聞会には、競技者側の立場で出席していたことにより、規律パネルからJADAのDCO指名システムの改善を指摘された。

ドーピングコントロールの 利益相反

JADAに対する評価だけではなく、
IFからのNFの評価、IOCによる日
本の評価等、国際組織多方面より、
日本のスポーツ界全体の評価につ
ながっている。



オリンピック・パラリンピックや
世界選手権等の招致に影響

検査に関する国際基準 (IST)

- 検体の採取に利害関係をもつとみなされる場合:

検査が実施される競技の検査計画に関わっている・知っていること

- 競技者の権利を護るため
- 規程上JADAは、利害関係を持つ検査員が選任されないことを確実にする責任がある。

利益相反は、JADAだけでは解決できない問題であり、皆様のご理解とご協力が必須となります。

より公正なDoping Control 運営の為には

利益相反の予防



DCOの立場の明確化



DCO倫理規定導入

※利益相反禁止について明文化

DCO倫理規定

DCOにとって利益相反が成立する相手及び状況：

- ① 自身が競技者の家族、親族等近親者
- ② 自身が競技者と個人的に密接な関係にある人
- ③ 自身が競技者、コーチ又はその所属団体と契約関係にある

より公正なDoping Control 運営を目指して

NFの皆様の懸念事項



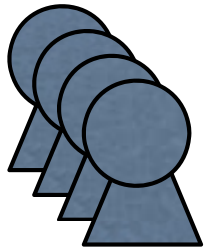
競技を知らない検査員が
対応する可能性がある



**NF Repの導入&
多くの検査員が複数の競技を学ぶ**

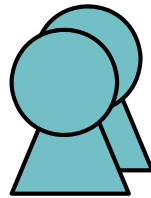
より公正なDoping Control運営

NFから
推薦



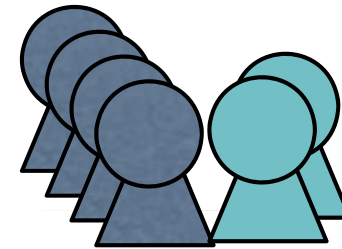
現在

JADA
派遣



検査現場

目標
JADA派遣



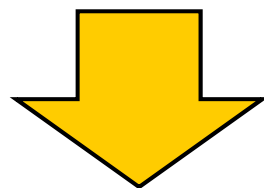
より公正な
派遣手順



検査現場

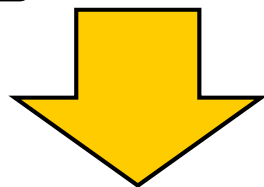
移行のタイミングは、NF毎にご相談させていただいた上で調整させていただきます。

特定のNFに関係しているDCO
の方へご協力をお願い



他競技の検査に
DCOとして
ご協力ください

各NFのアンチ・ドーピング委員会/ 部会の先生方へご協力をお願い



競技団体における**教育活動**に
ご協力ください

※DCO講習会では、検体採取手続きについてののみ講習し、禁止表やTUEなどについては講習会に含まれていないことから、DCO資格を維持しても、ドーピング防止規則全般の最新情報を得ることはできません。

現在、**最新情報は、NF連絡会議にてご連絡させていただいております。**

皆様のご理解とご協力に
心より感謝申し上げます。

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

アンチ・ドーピング活動の
世界のトップを目指して。
For the Real Champion

アンチ・ドーピング活動 ～NEXT STAGE～

連絡事項

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

連絡事項

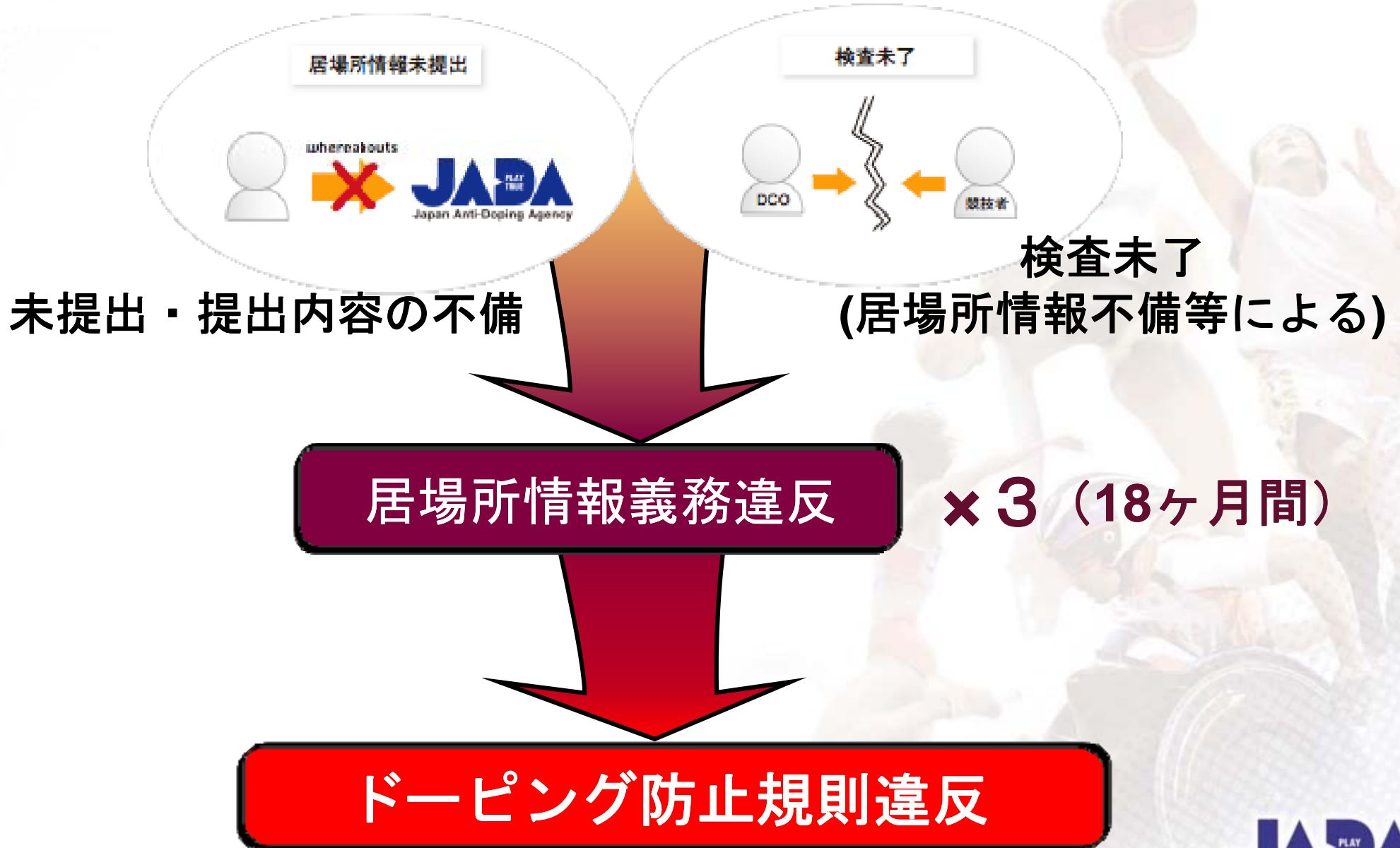
1. 居場所情報提出について
2. 日本代表チーム居場所情報の提出
3. 大会要項への注意喚起文掲載の協力依頼
4. TUE事前申請対象大会について

1. 居場所情報提出について

居場所情報提出方法

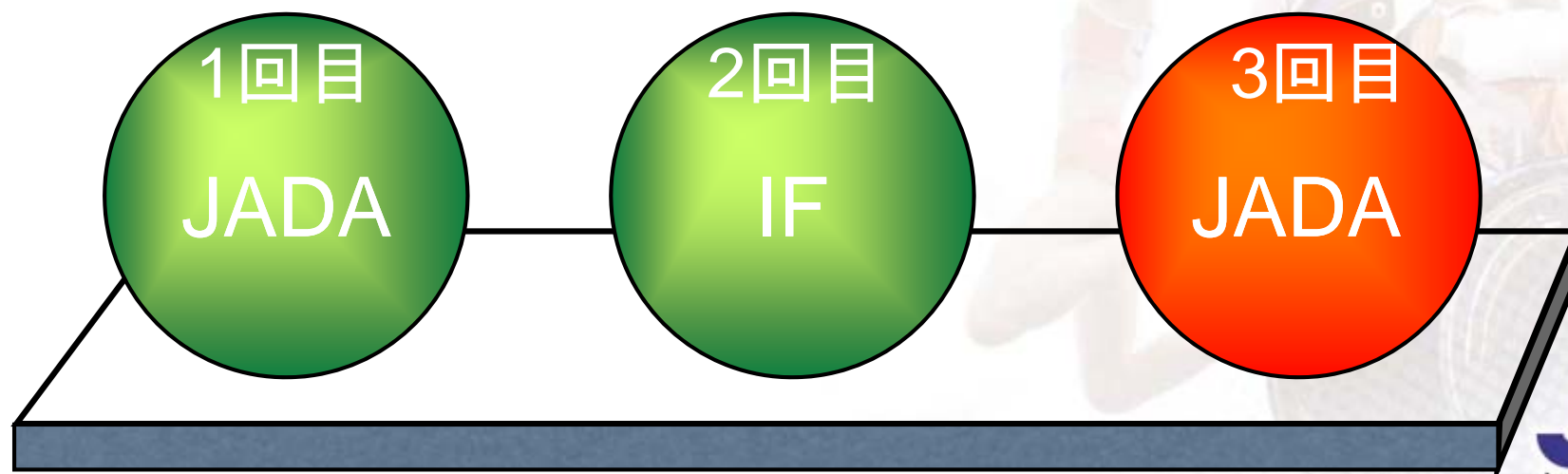
- 宿泊場所，練習，競技会等を含む全ての活動情報の提供
- 60分 / 日の特定（6:00～23:00の間で特定）
- 60分の時間枠内で通告できなければ検査未了
- 四半期ごとに提供（四半期一括送信）
- 予定が変更になった時点で、必ずその都度更新する

居場所情報義務違反



IFとの情報の共有について

- 居場所情報は、**国際競技団体(IF)とJADAとの間で情報共有**
- **居場所情報義務違反については、合算され、18ヶ月間に3回でドーピング防止規則違反が成立**
- **IFのRTPAが更新された場合には、JADAまで必ず連絡ください**



RTPAにおける居場所情報提出の管理

◎ 通常の居場所情報提出・更新に関する指導をお願いします

➤ 各四半期の提出期限までに、競技者は居場所情報を確実に提出する。

(期限)

第1四半期 3月30日

第2四半期 6月30日

第3四半期 9月30日

第4四半期 12月31日

➤ 未提出の競技者に対して競技団体からも指導をお願いします。

➤ 6月30日が第2四半期の提出期限となっていますので、対象競技者への指導をお願いします

2. 日本代表チーム居場所情報の提出

目的

- 日本ドーピング防止規程に基づき、日本代表として競技する競技者の居場所情報を収集し、円滑且つ効果的なドーピング検査を実施するため
 - 競技者に負担とならない日本代表チーム活動情報に基づき、可能な限り競技者に負担をかけない検査実施の機会を検討するため。
- ◎ 本件につきましては、通知文書「平成24年度日本代表チーム活動情報提供について」を、平成24年5月30日付にて本機構加盟団体へ発信しておりますので、併せてご確認ください。

2. 日本代表チーム居場所情報の提出

● 日本代表チーム居場所情報の範囲

- 競技種目ごとに競技団体と提出する日本代表チームの範囲を協議いたします

● 提出方法

- 1) 四半期カレンダーの提出(四半期ごとに×切)
- 2) 各活動の詳細情報の提出(各活動 2週間前)

2. 日本代表チーム居場所情報の提出

● 個人居場所情報との乖離が合った場合

《参考例》

競技者本人の居場所情報： 9:00～12:00(60分の時間枠:11:00～12:00)
指定場所： 北区ナショナルトレーニングセンター

ナショナルチーム居場所情報： 9:00～11:00
指定場所： 北区ナショナルトレーニングセンター

→11:00～12:00に競技会外検査を試み、競技者が不在であった場合には、個人居場所情報に基づき「検査未了」の手続きへ

3.大会要項への注意喚起文掲載の 協力依頼

競技者に対し事前に通知しておくべき内容、注意を促す内容を大会要項等に挿入していただけるよう、文章の雛型を作成いたしました。

詳細はテストインググループ担当コーディネーターから随時ご連絡およびご説明をさせていただきます。

4. TUE事前申請対象大会について

The screenshot shows the JADA website with a navigation menu and a news section. A red box highlights a news item titled "治療目的使用に係る除外措置(TUE)事前申請対象競技会について". A large orange arrow points from this news item towards the right side of the slide.

JADA 公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構
Japan Anti-Doping Agency

10th JADA PLAY TRUE Tenth Anniversary

JADAは10周年を迎えました。
JADA（公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構）は平成23年9月16日をもって創立10周年を迎えました。皆様には日頃よりご協力とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

10周年記念式典開催
10th Anniversary Press Release

JADAからのお知らせ

- 2012/04/20 日本ドーピング防止規程パネルの決定報告
- 2012/04/06 Sports Pharmacist System, Introduction
- 2012/03/28 JADA「公認スポーツファーマシスト制度」がWADAのホームページで紹介
JADA Sports Pharmacist System will be more strengthened!
- 2012/03/06 TUE事前申請が必要な競技大会一覧の追加とフローチャート修正について
- 2012/03/04 治療目的使用に係る除外措置(TUE)事前申請対象競技会について

ドーピングに関するニュース

- 2012/05/03 英レスリングで薬物違反 グレコ66キロ級ダイコン
- 2012/05/02 生体パスポートで初の摘発 国際陸連、血液に異常値
- 2012/05/02 BOAに規定改定求める CAS裁定でWADA
- 2012/05/01 オグノチ、2年間資格停止 海外スポーツ短信
- 2012/04/25 アテネ銀選手が出場停止 海外スポーツ短信
- 2012/04/23 薬物検査施設が認可 ウェンロック
- 2012/04/20 BOA敗訴へと英メディアドーピング「二重制裁」
- 2012/04/19 リッコに12年間出場停止 海外スポーツ短信
- 2012/04/12 医事部長にバジレット氏100、10日就任

ドーピング防止ガイドブック WEB ver.

Real Winner アンチ・ドーピング Real Winner

治療目的使用に係る除外措置
TUE事前申請対象大会

禁止表 Mobile Site
List of Prohibited Substances and Methods

禁止表 iPhone App

Sports Pharmacist スポーツファーマシスト
スポーツファーマシストは薬事部の協力のもとドー

皆様のご理解とご協力に
心より感謝申し上げます。

10th Anniversary
JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

アンチ・ドーピング活動の
世界のトップを目指して。
For the Real Champion